第 411 回 東京大学図書行政商議会議事要旨

日　　時　平成２５年９月２５日（水）　１０：００～１１：３５
場　　所　総合図書館３階 大会議室
出 席 者　＜委員長＞　古田元夫　＜副委員長＞　石田英敬　＜委　員＞　高田裕成、
水口　雅(代)、六反田豊(代)、榎森康文(代)、清水謙多郎、佐口和郎(代)、橋本毅彦、
根本　彰、村田茂穂、松本久義(代)、今井　浩、岡本剛和(代)、山梨裕司、吉田真吾、
板倉聖哲、大湾秀雄、畑中研一、山家浩樹、川崎雅裕、勝本信吾、佐藤正樹
※(代)は代理出席者
＜ｵﾌﾞｻﾞｰﾊﾞｰ＞酒井哲哉、雨宮慶幸、中川裕志（代）、玄田有史
欠 席 者　田畑　仁、斎藤　馨、白髭克彦、玉井克哉
列 席 者　関川雅彦、高橋　努、木下　聡、北村照夫、市村櫻子、増田晃一、風巻利夫、
渡辺一兄、吉田左貴子、三浦圭子、笠原政宏、藤本蒂子、野口真理子、濱田すみ子、
合田美惠子、森田美由紀、本多　玄、守屋文葉、高橋　隆、村上晋司、圷　陽子

配付資料

１.第４１０回東京大学図書行政商議会議事要旨
２－１.附属図書館に研究部門を置くことについて
２－２.東京大学基本組織規則（抜粋）
２－３.東京大学附属図書館基本規則
２－４.東京大学図書行政商議会規則
２－５.東京大学附属図書館基本規則の一部を改正する規則(案)
２－６.東京大学寄付講座等要項
２－７.東京大学附属図書館「アジア研究図書館上廣寄付研究部門」の概要(案)
３.博士論文のインターネット公表に関する方針について
４.アジア研究図書館にかかる協力可能資料意向調査結果

＜開　会＞

・古田委員長の主宰のもとに開会した。
・古田委員長から代理出席者の紹介があった。

＜議　事＞

１．前回議事要旨の確定

古田委員長から、第４１０回議事要旨を資料１のとおり確定し、ホームページで公開した旨報告があった。

２．協議事項

（１）附属図書館に研究部門を置くことについて

古田委員長から、継続審議の扱いとなっていたこの案件について、改めて提案理由と補足説明があった。

引き続き審議が行なわれ、図書行政商議会を教員選考のみなし教授会とすることについて、慎

重に考えるべきとの意見が出されたが、教員選考の具体的な手続きについては、改めて図書行政商議会に諮ること、本件は今後研究科長・学部長・研究所長合同会議にも付議され、部局長からの意見開陳の機会が設けられること、の２点を確認した上で、附属図書館に研究部門を置けるようにすること、及び、附属図書館基本規則に研究部門の設置をうたい、教員人事を行う教授会に相当するのは図書行政商議会であることを明記することが了承された。

高橋総務課長から、資料２－５にもとづき、東京大学附属図書館基本規則の一部を改正する規則の原案についての説明があり、今日の議論の範囲を超えるような変更でない限り、条文の表現は館長に一任することとなった。

古田委員長から、資料２－６にもとづき、「東京大学寄付講座等要項」の改正についても手続きを進めている旨の発言があった。

古田委員長から、資料２－７にもとづき、既に人文社会系研究科と総合文化研究科の寄付講座・寄付研究部門を支援していただいている上廣倫理財団から、アジア研究図書館上廣倫理財団寄付研究部門(仮称)の設置を前提に寄付申込みがあることについて報告があり、本寄付研究部門の設置については、１１月の図書行政商議会に諮りたい旨の発言があった。

３．報告事項

（１）学位規則の一部改正について

守屋総務課主査から、資料３にもとづき、「博士論文のインターネット公表に関するワーキンググループ」の審議状況について説明があり、今後のスケジュールとして、月１回程度学部・大学院教育部会が開催され、継続的に審議が行われ、１２月開催の教育運営委員会を経て、学内の周知を図ることを目標に進められているとの報告があった。

（２）アジア研究図書館にかかる協力可能資料の意向調査の結果について

古田委員長から、資料４にもとづき、アジア研究図書館にかかる協力可能資料の意向調査の結果について、図書が３６万４千冊、雑誌が８，８７２タイトル、１２万４千冊あり、合計４９万冊弱が協力可能であるとの報告があり、東洋文化研究所をアジア研究図書館の分室のような位置付けで、漢籍を集中させる可能性について検討しているとの発言があった。

（３）その他

古田委員長から、資料５にもとづき、総合図書館で開催を予定している様々なイベントについての報告があった。

高橋総務課長から、平成２３年度及び平成２４年度の附属図書館活動報告書について紹介があった。

古田委員長から、次回商議会は平成２５年１１月１５日午前を予定している旨の発言があった。

＜閉　会＞